

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	診療の補助技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室 看護実習室
担当教員	今若広之 他	実務経験と その関連資格	総合病院で内科系、外科系の病棟で看護師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>診療の補助行為に関わる援助方法の基本について学ぶ。検査や薬物療法、創傷管理が必要な対象者が安全に、検査・治療を受け、療養生活を送ることができるための方法を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>授業・演習の出席状況、態度、課題提出状況(20%)、筆記試験(80%)で評価する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院 看護技術が見えるVol 1.2 メディックメディア</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>技術習得のため授業・演習の前に教科書、参考図書を読んでおく。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>授業での内容が演習で知識として必要になります。学習をしておきましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷・褥創についての基礎知識と援助の実際を述べることができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	創傷管理の基礎知識・褥創処置・褥創予防			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	包帯やテープなど物品の使用上の留意点や生体機能管理技術の基礎知識について述べるができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1,2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	創傷処置・生体機能管理技術の基礎知識・検体検査			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液検査の基礎知識を理解した上で、その方法について看護の実際をイメージし、留意点を述べるができる。	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1,2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	検体検査(血液検査)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽を考慮し、各項目(静脈血採血・検尿・創処置・包帯法)の基本動作ができる。不足している点を追加修正することができる。	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1,2 メディックメディア	各項目について方法・留意点をワークシートにまとめ、演習に取り組む	
		各コマにおける授業予定	静脈血採血・検尿・創処置・包帯法(演習)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全・安楽を考慮し、各項目(静脈血採血・検尿・創処置・包帯法)の基本動作ができる。不足している点を追加修正しワークシートをまとめることができる。	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1,2 メディックメディア	各項目について方法・留意点をワークシートにまとめ、不足部分は追加修正を行い演習に取り組む	
		各コマにおける授業予定	静脈血採血・検尿・創処置・包帯法(演習)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・検査・処置の介助に必要な看護援助について説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	診察・検査・処置と看護援助		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察・検査・処置の介助に必要な看護援助について説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	診察・検査・処置と看護援助		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	与薬の基礎知識、必要な看護について説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	与薬の基礎知識;経口与薬、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬とは何か、また、その適応、方法、その際に行う看護について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	注射(皮内注射、皮下注射、筋肉内注射)の適応、方法、実施時の必要な看護を説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	注射法(皮内注射、皮下注射、筋肉内注射)を行う際に看護師が知っておかなければならない知識・技術と看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	注射(静脈内注射点滴静脈内注射)の適応、方法、実施時の必要な看護を説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	注射法(静脈内注射、点滴静脈内注射)を行う際に看護師が知っておかなければならない知識・技術と看護		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	注射(点滴静脈内注射、輸液ポンプの使用法、混注法)の適応、方法、実施時の必要な看護を説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	注射法(点滴静脈内注射、混注法)や、輸液ポンプを使つての与薬を行う際に看護師が知っておかなければならない知識・技術と看護について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	輸血の適応、方法、実施時の必要な確認、観察、看護を説明することができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	授業で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	輸血のを行う際に看護師が知っておかなければならない知識・技術と看護		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	皮下注射に必要な技術の修得ができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	演習用のワークシートの作成、演習で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	与薬方法と実際:皮下注射		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	筋肉内注射に必要な技術の修得ができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	演習用のワークシートの作成、習で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	与薬方法と実際:筋肉内注射		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	点滴静脈内注射、側管法、輸液速度の調整に必要な技術の修得ができる	基礎看護学③ 基礎看護術Ⅱ 医学書院、看護技術が見えるVol 1、2 メディックメディア	演習用のワークシートの作成、習で行う部分の教科書、参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	与薬方法と実際:点滴静脈内注射の際の固定、側管注の実施、輸液速度の調整の方法		